

## 平成 31 年度環境技術実証事業における実証機関の選定に係る評価 記入用紙案 (委員用)

技術領域・区分名 : \_\_\_\_\_

申請機関名 : \_\_\_\_\_

委員氏名 : \_\_\_\_\_

妥当性評価(点数)については以下の 5 段階の点数付けにより行う

5 点 (非常に適切)

2 点 (より適切)

1 点 (標準)

-2 点 (一部不足)

-5 点 (是正が必要)

※標準点数:16 点

評価項目 <選定の観点>	妥当性評価 (点数)					コメント (特筆事項等ありましたらご記入下さい)	参考申請書類
<b>1. 組織・体制について</b>							
a. 実証機関としての実施体制(十分な体制・人員、明確な役割分担・責任体制)が整っているか	5	2	1	-2	-5		
b. 品質管理システムが構築・文書化されているか	5	2	1	-2	-5		
c. 定期的な内部監査を実施する体制が整っているか	5	2	1	-2	-5		
d. 業務に係る記録保持を実施する体制が整っているか	5	2	1	-2	-5		
<b>2. 技術的能力について</b>							
a. 技術分野に関する十分な実績と専門的知識を有する人員がいるか	5	2	1	-2	-5		
b. 適切な実績計画作成方針と実績計画策定案が提案されているか	5	2	1	-2	-5		
c. 実証の実施体制が適切か	5	2	1	-2	-5		
a. 試験実施体制及び設備が整っているか(試験を外部委託する場合は、実証機関としての役割を果たせることが明確であること)	5	2	1	-2	-5		
b. 試験データの検証及び試験監査の実施体制が整っているか	5	2	1	-2	-5		
c. 技術実証検討会の運営体制が整っているか	5	2	1	-2	-5		
<b>3. 公平性の確保について</b>							
a. 公平性が確保されているか	5	2	1	-2	-5		
b. 機密保持の体制は適切か	5	2	1	-2	-5		
<b>4. 公正性の確保について</b>							
a. 公正性が確保されているか(技術、財政上の独立性等)	5	2	1	-2	-5		
b. 苦情及び意義申し立てに関する内容が確保されているか	5	2	1	-2	-5		
<b>5. 経理的基礎について</b>							
a. 十分な経理的基礎を有しているか(資金、会計監査の実施等)	5	2	1	-2	-5		
<b>6. 経費積算等の妥当性について</b>							
a. 経費の積算が適正であるか、手数料予定額の設定が適切であるか	5	2	1	-2	-5		

## 【事務局記載欄】

審査結果 (評価結果の合計得点)	
委員コメントに関する特筆事項等	